

令和6年度「えひめ子どもスポーツITスタジアム」実施要項

愛媛県教育委員会

1 目的

ホームページを通じて楽しく競い合えるIT環境をつくることにより、幼児・児童の運動に対する興味関心を高め、楽しみながら継続的に運動に取り組み、体力の向上とスポーツへの参加意識の高揚を図るとともに、幼児・児童の体力向上に対する県民の意識の高揚を図ることを目的とする。

2 期間

(1) チャレンジ部門

令和6年5月13日（月）から令和7年1月17日（金）17:00まで

(2) ポイント獲得部門

【エブリディススポーツ】

令和6年5月13日（月）から令和7年1月17日（金）17:00まで

【幼児プログラム】

令和6年5月13日（月）から令和7年1月17日（金）17:00まで

(3) 創作部門

令和6年5月13日（月）から令和7年1月10日（金）17:00まで

3 対象

県内の保育所・幼稚園児、小学生

4 ホームページアドレス

<http://www.its-ehime.jp>

5 部門及び種目

(1) チャレンジ部門

種 目	内 容
スローアンドキャッチラリー	3分間、1つのボールを使ってキャッチボールを行い、何回捕球できたかを競う。
長なわ跳び	連続回旋跳びで、なわを何回跳べたかを競う。
8の字ジャンプ	8の字跳びを行い、なわを合計何回跳べたかを競う。 1・2年生 : 3分間 3・4年生 : 4分間 5・6年生 : 5分間 特別支援学級等 : 4分間
チームリレー	1人が半周（約50m）を走るリレーで、1人あたりの平均タイムを競う。

※記録は、実施日もしくは実施日の翌日までに入力する。

※入力の際は、特に「長なわ跳び」と「8の字ジャンプ」の入力間違いがないよう再度確認する。

(2) ポイント獲得部門

【エブリディスports (小学生対象)】

種 目	内 容
みんなで逆上がり下り	各自 20 秒間ずつ逆上がり下りを行う。
みんなでダンス	音楽に合わせて、5 分程度、各学級等で作った独自のリズムダンスを行う。
みんなでなわ跳び&ダブルダッチ	各学級等、独自のプログラムでなわ跳び運動を行う。
みんなでジャンプ	学級又は学年、縦割りグループ等全員で大なわ跳びをする。
みんなでキック	2 人組になり、対面でボールを蹴ってパスをする。低学年は 5 m、中学年は 7 m、高学年は 9 m 離れて行う。
みんなでランニング	各学級等、独自のコースで走る。
みんなでアスレチック	校庭等に設置されている遊具を使って活動する。
みんなでトレーニング	愛媛県教育委員会保健体育課配布のリーフレットを参考にトレーニングを行う。

※学級 (学年・学校・縦割りのグループなど可) 全員で行うこととし、ポイントを獲得し、累計していく。

※1つの種目を行ったら、1ポイント獲得する。1日に複数の種目を行ってもよい。

※実施時間は、3分～5分程度とし、各種目によって設定する。

※参加した学級 (学年・学校・縦割りのグループなど) に認定証を発行する。

※随時、ポイントを入力・更新していく。令和7年1月17日 (金) の登録締切後、認定証交付申請書を、令和7年1月24日 (金) までに愛媛県教育委員会保健体育課へ送付する。

※リーフレットとは、平成30年4月に配布した「柔軟性チェック」と「体育の中でコーディネーショントレーニング」を指す。

【幼児プログラム (幼児対象)】

おともだちづくり	リズムあそび
おやこあそび	みずあそび
ボールあそび1	ゆうぐあそび
なわあそび	ボールあそび2
マットあそび	いろいろなあそび

※クラス等単位で行うこととし、ポイントを獲得し、累計していく。

※1つの種目を行ったら、1ポイント獲得する。1日に複数の種目を行ってもよい。

※参加したクラス等に参加証を発行する。(表彰の対象にはならない。)

※随時、ポイントを入力・更新していく。令和7年1月17日 (金) の登録締切後、参加証交付申請書を、令和7年1月24日 (金) までに愛媛県教育委員会保健体育課へ送付する。

(3) 創作部門

種 目	内 容
レッツリズムダンス	学校、学年、学級やグループ等で創作したリズムダンスのコンテスト。

6 種目の説明

(1) チャレンジ部門

① スローアンドキャッチラリー

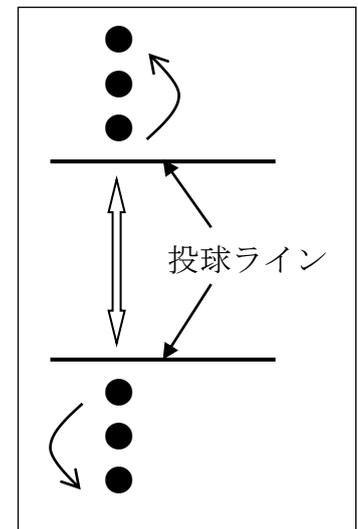
3分間、1つのボールを使ってキャッチボールを行い、何回捕球できたかを競う。

ア 準備

- ・ドッジボール（合成ゴム製）を使用するが、ボールの号球は自由とする。
- ・平面上に、投球ラインを示す2本の直線を引く。
 - 1・2年生 : 5 m間隔
 - 3・4年生 : 7 m間隔
 - 5・6年生 : 9 m間隔
 - 特別支援学級等 : 5 m間隔

イ 方法

- ・各グループがほぼ半数となるように2つに分かれ、投球ライン後方に縦1列で向かい合って並ぶ。
- ・計時の「はじめ」の合図で始め、3分間経った時点で計時が「おわり」の合図をする。「おわり」の合図をした時点で、捕球した回数を記録とする。
- ・ファンブル後ボールを保持した場合も捕球とする。ただし、ファンブルした場合は、その人だけが行き、ラインまで戻って続ける。
- ・投球ライン内での捕球及び投球はしてはならない。ただし、ファンブルしたボールが投球ライン内に入った場合は、中に入ってボールを取りに行ってもよい。また、投球ラインを踏んだり、投球ラインの中に入ったりしてボールを投げた場合は、相手が捕球しても捕球回数には入れない。
- ・投球はノーバウンドで相手に届くように投げることが望ましいが、バウンドしても、投球ライン後方でボールを捕球すれば捕球回数に入れることができる。
- ・投球フォーム、助走及びステップの距離は自由とする。
- ・投球後は、投球ラインの前方に入ってもよい。
- ・投球後は、同じ列の後ろに並ぶ。
- ・キャッチボールをする2人以外は、ボールに触れてはいけない。



ウ グループ編成

- ・通常学級は、学級全員をほぼ半数の2つのグループに分ける。
- ・12人未満の通常学級は、1つのグループで行う。
- ・6人未満の学級は、異学年の児童（学級または学年全員）を加えて1つのグループで行う。この場合の記録は、構成人数の最も多い学年に登録する。（異学年同士が同数の場合は、上の学年で登録する。）異学年でグループを構成する場合、学級または学年を解体してはならない。
- ・特別支援学級等は、学級全員または特別支援学級等に在籍する児童で1つのグループとして実施する。在籍数が1人の場合は、同学年の通常学級児童を1人加え、2人で行う。

エ 記録と参加人数

- ・2つのグループが捕球できた回数を合計し、その学級の記録とする。
- ・2つのグループの実施日は同日でなければならない。
- ・1グループで実施した場合は、記録を2倍した回数を登録する。
- ・特別支援学級等の記録は、1つのグループの回数とする。
- ・通常学級の参加人数は、2つのグループの参加児童数の合計とする。ただし、12人未満の通常学級は、1つのグループの参加児童数とする。

オ 実施上の注意事項

- ・実施場所は運動場または体育館とする。
- ・記録挑戦の際は、可能な限り複数の教員立会いのもと実施し、計時・審判は教員が行う。
- ・特別支援学級等は、児童の特性に応じて、教員が補助に加わり、補助具を活用しても良い。

② 長なわ跳び

連続回旋跳びで、なわを何回跳べたかを競う。

ア 準備

- ・長なわ、またはなわ跳び用グリップ付き長なわ

イ 方法

- ・跳ぶ児童の並び方は自由とする。
- ・なわを回し、全員が跳ぶことができたなら1回とし、連続して跳ぶことができた回数を記録とする。
- ・10人以上のグループ内で少なくとも8人（児童）がなわを跳び、2人（児童）までなわを回すことができる。また、グループ全員（10人以上の児童）で跳んで、教員や保護者がなわを回してもよい。

ウ グループ編成

- ・学級全員を10人以上のグループに分ける。
(選抜メンバーでの登録はできない。)
- ・複数のグループで行う場合、同一児童が別のグループに参加することはできない。
- ・9人以下の学級は、異学年の児童(学級または学年全員)を加え、10人以上にして行う。この場合の記録は、構成人数の最も多い学年に登録する。(異学年同士が同数の場合は、上の学年で登録する。)異学年でグループを構成する場合、学級または学年を解体してはならない。
- ・特別支援学級等については、3人以上がなわを跳ぶグループを編成する。なわを跳ぶ児童が3人に満たない場合は、特別支援学級等に在籍する児童と同学年の通常学級児童を加え3人以上で行う。

エ 記録と参加人数

- ・学級で10人以上のグループを複数つくって行った場合は、各グループの跳んだ回数の合計をグループ数で割り、その平均回数を学級の記録とする。平均回数が小数となった場合は、小数第1位を切り捨て、整数とする。
- ・学級全員により、1つのグループで実施した場合は、そのグループが跳んだ回数を学級の記録とする。
- ・特別支援学級等は、3人以上のグループを複数つくって行った場合は、グループの中で最も多い回数を記録とする。参加人数は、そのグループの人数とする。
- ・複数のグループで実施した場合、実施日はすべて同日でなければならない。
- ・通常学級の参加人数は、各グループのなわを跳んだ児童数の合計とする。ただし、児童がなわを回した場合は、なわを跳んだ児童数となわを回した児童数の合計とする。教員、保護者等の数は含めない。

オ 実施上の注意事項

- ・実施場所は運動場または体育館とする。
- ・使用するなわの長さや種類は自由とする。
- ・なわを回す人は、児童、教職員または保護者とし、手袋等を着用してもよい。
- ・記録挑戦の際は、可能な限り複数の教師立会いのもと実施し、計時・記録は教師が行う。
- ・特別支援学級等は、児童の特性に応じて、教員が補助に加わり、補助具を活用しても良い。

③ 8の字ジャンプ

8の字跳びを行い、規定時間内になわを合計何回跳ぶことができたかを競う。

ア 準備

- ・長なわ、またはなわ跳び用グリップつき長なわ
- ・ストップウォッチ

イ 方法

- ・「はじめ」の合図までは、跳ぶ児童はなわの外に出しておく。
 - ・計時の「はじめ」の合図なわを回し始める。1人が入って1回跳んで出る。次の人が入って1回跳んで出るという跳び方で順々に入って跳んで出ていくという運動を行う。タイミングが合わず、空回旋になってもかまわない。
 - ・なわにかかって失敗した場合、跳び直しをせず次の児童から跳び続ける。
 - ・終了した時点で計時の「終わり」の合図をする。規定時間以内であれば、途中で失敗した場合、すぐになわをまわし始め、次の児童が入って跳ぶ。跳んだ回数を加算していく。
 - ・跳ぶ児童の並び方は自由とするが、途中で順番を変えてはいけない。また、全員が一通り跳び終えたら、2順目は、逆の場所からなわに入り、全員の移動が回転するなわを中心に8の字になるように動く。
 - ・教員や保護者等がなわを回しても良い。
- ・規定時間は、次のとおりとする。
- | | |
|---------|-------|
| 1・2年生 | : 3分間 |
| 3・4年生 | : 4分間 |
| 5・6年生 | : 5分間 |
| 特別支援学級等 | : 4分間 |

ウ グループ編成

- ・人数の制限はなく、学級等全員で行う。
- ・複数の学年で行った場合は、構成人数の最も多い学年に登録する。(異学年同士が同数の場合は、上の学年で登録する。)

エ 記録と参加人数

- ・「1、2、3」と跳んでいて、「3」で失敗した場合は、次は「3、4、5・・・」と数え始め、失敗したときの回数を含めない。
- ・なわ1回旋に対して、児童が1回なわを跳んだ場合1回と数え加算していく。
- ・通常学級の参加人数は、児童がなわを回した場合は、なわを跳んだ児童数と、なわを回した児童数の合計とする。教員、保護者等の人数は含めない。

オ 実施上の注意事項

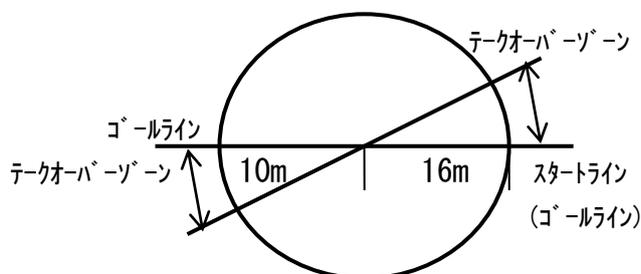
- ・実施場所は運動場または体育館とする。
- ・使用するなわの長さや種類は自由とする。
- ・なわを回す人は、児童、教職員または保護者とし、手袋等を着用しても良い。
- ・記録挑戦の際は、可能な限り複数の教師立会いのもと実施し、記録・計時とも教師が行う。
- ・特別支援学級等は、児童の特性に応じて、教員が補助に加わり、補助具を活用しても良い。

④ チームリレー

1人が半周（約50m）を走るリレーで、1人あたりの平均タイムを競う。

ア 準備

- ・バトン
- ・平坦な地面上に半径16mの円（円周約100.5m）、スタートライン、ゴールライン及びテイクオーバーゾーンを設定する直線を引く。
- ・運動場の形によって円が設営できない場合は、1周100mのトラックを利用してもよい。その場合、テイクオーバーゾーンは直線上とする。



イ 方法

- ・走る順番は自由とする。
- ・スタートの方法は、スタンディングスタートとする。
- ・計時のスタートの合図から、最終走者のトルソー（胴体の一部）がゴールライン上に到着するまでにかかった時間を計測する。
- ・バトンの引き継ぎは、テイクオーバーゾーン（円周上の距離で10m）で行う。それ以外でバトンの引き継ぎを行われた場合は、やり直しとする。

ウ グループ編成

- ・学級全員が参加し、4人以上のチームでリレーを行う。複数のチームができた場合、同一児童が別のチームで参加することはできない。
- ・4人未満の学級は、異学年の児童（学級または学年全員）を加えて行う。この場合の記録は、構成人数の最も多い学年に登録する。（異学年同士が同数の場合は、上の学年で登録する。）異学年でグループを構成する場合、学級または学年を解体してはならない。
- ・特別支援学級等は、学級全員または特別支援学級等に在籍する児童で1つのグループとして実施する。在籍数が1人の場合は、特別支援学級等に在籍する児童と同学年の通常学級児童を加えて4人で行う。

エ 記録と参加人数

- ・タイム測定は、10分の1秒までとする。
- ・1人あたりの平均タイムを算出する際には、100分の1秒を切り上げ、10分の1秒までとする。
- ・複数のチームができた場合、各チームのタイムを合計し、参加人数で割って、一人当たりの平均タイムを登録する。
- ・参加人数は、走った人数とする。

オ 実施上の注意事項

- ・実施場所は運動場等とする。
- ・バトンは、原則としてプラスチック製のバトンを使用する。
- ・記録挑戦の際は、可能な限り複数の教師立会いのもと実施し、計時・審判は教員が行う。
- ・特別支援学級等は、児童の特性に応じて、教員が補助に加わり、補助具を活用しても良い。

※ 特別支援学級等のチャレンジ部門における留意点（再掲）

① スローアンドキャッチラリー

- ・グループ編成は、学級全員または特別支援学級等に在籍する児童で1つのグループとして実施する。在籍数が1人の場合は、同学年の通常学級児童を1人加え、2人で行う。
- ・記録は、1つのグループの回数とする。
- ・児童の特性に応じて、教員が補助に加わり、補助具を活用しても良い。

② 長なわ跳び

- ・グループ編成は、3人以上がなわを跳ぶグループを編成する。なわを跳ぶ児童が3人に満たない場合は、特別支援学級等に在籍する児童と同学年の通常学級児童を加え3人以上で行う。
- ・3人以上のグループを複数つくって行った場合は、グループの中で最も多い回数を記録とする。参加人数は、そのグループの人数とする。
- ・児童の特性に応じて、教員が補助に加わり、補助具を活用しても良い。

③ 8の字ジャンプ

- ・人数の制限はなく、学級等全員で行う。
- ・児童の特性に応じて、教員が補助に加わり、補助具を活用しても良い。
- ・規定時間：4分間

④ チームリレー

- ・グループ編成は、学級全員または特別支援学級等に在籍する児童で1つのグループとして実施する。在籍数が1人の場合は、特別支援学級等に在籍する児童と同学年の通常学級児童を加えて4人で行う。
- ・児童の特性に応じて、教員が補助に加わり、補助具を活用しても良い。

(2) ポイント獲得部門 【エブリディスポーツ】

8 種目の運動を学級（学年・学校・縦割りグループなど）全員で行うことでポイントを獲得していく。

実施方法

- ・それぞれの種目に、学級（学年・学校・縦割りのグループなど）全員で行う。（1日に複数の種目実施可）
- ・実施時間は3～5分程度とする。（手軽に負担なく実施できる時間）
- ・どの種目でも、実施したら1ポイント獲得する。
- ・日々の取り組みを、随時ホームページに登録し、更新する。
- ・年間を通して、どの時期にどの種目を行っても良いが、時期を考慮したり、成果をあげるため計画的に行ったりすることが望ましい。
- ・複数の学年で行った場合は、構成人数の最も多い学年に登録する。（異学年同士が同数の場合は、上の学年で登録する。）

種 目 ※学校、学級の実態に応じてルールや行い方を工夫してもよい。

- ① **みんなで逆上がり下り**
 - ・一斉（ペアかグループ）に20秒間（20秒ずつ）逆上がり下りを行う。
- ② **みんなでダンス**
 - ・音楽に合わせて、5分程度、各学級（学年・学校・縦割りグループなど）で独自に作ったダンスを行う。
- ③ **みんなでなわ跳び&ダブルダッチ**
 - ・跳ぶ技は自由とする。（プログラムは、各学校等で工夫する。）
- ④ **みんなでジャンプ**
 - ・学級（学年・学校・縦割りグループなど）全員で大なわ跳びをする。
- ⑤ **みんなでキック**
 - ・2人組になり、対面でボールを蹴ってパスをする。自分に来たボールは足で止めて、蹴る。または、来たボールを止めずにダイレクトに蹴ってもよい。
 - ・低学年は5m、中学年は7m、高学年は9m離れて行う。
 - ・コースがそれて、ボールが離れていったときは、ボールをとりについて、手で持ってキックラインにボールを置いて再開する。
- ⑥ **みんなでランニング**
 - ・走るコースは、各学校の実情に応じて設定する。
- ⑦ **みんなでアスレチック**
 - ・校庭などに設置されている遊具を使って活動する。
- ⑧ **みんなでトレーニング**
 - ・愛媛県教育委員会保健体育課配布のリーフレットを参考に「柔軟性チェック」と「体育の中でコーディネーショントレーニング」のトレーニングを行う。
 - （③～⑧については、低学年は3分間、中学年は4分間、高学年は5分間行う。計時は、教師が行う。）

※特別支援学級等は、児童の特性に応じて、教師が補助に加わり、補助具を活用しても良い。

(3) 創作部門

① レッツリズムダンス（5分程度）

- ・学校で創作したもので、学年、学級及びグループ等で運動会や業間、体育科の学習等で実施したものとする。
- ・創作者は、教師あるいは児童等とする。

7 実施上の留意点

(1) 全般的な留意点

練習や記録挑戦にあたっては、休み時間や業間、放課後等に、教師の指導のもと、児童が主体的に活動できるように配慮すること。また、児童の健康観察、施設及び用具の点検等、安全に十分留意して実施すること。

(2) チャレンジ部門の記録の登録及び更新について

記録の登録及び更新については、「利用の手引き」を参照し、「えひめ子どもスポーツ I T スタジアム」ホームページにある「チャレンジ部門 記録登録・更新」ページにて行う。

※「利用の手引き」は、「えひめ子どもスポーツ I T スタジアム」ホームページからダウンロードすること。

※「えひめ子どもスポーツ I T スタジアム 学校コード・パスワード」については、各小学校に直接通知する。

① 記録の更新

随時更新することができる。（記録の更新及び参加種目の追加を含む。）

② 記録の登録及び記録の更新の締切

令和7年1月17日（金）17:00

③ 月間賞について

チャレンジ部門の各種目の上位3位以内の参加団体（各学年）に月間賞を授与する。対象期間は、5月～1月（8月は除く）とする。

各月末にホームページに更新された最終データから各種目・各学年ごとに上位3位以内の参加団体を確認し、該当学校は、ホームページから月間賞の様式をダウンロードし、各学校において表彰するなどして活用ください。

(3) ポイント獲得部門の登録及び更新について

記録の登録及び更新については、「利用の手引き」を参照し、「えひめこどもスポーツ I T スタジアム」ホームページにある「ポイント獲得部門 記録登録・更新」ページにて行う。

日々の記録については、随時ホームページに登録し、更新する。

また、登録終了後、認定証交付申請書（小学生）・参加証交付申請書（幼児）を愛媛県教育委員会保健体育課へ送付する。

① 提出先

愛媛県教育委員会保健体育課教育指導グループ
〒790-8570
松山市一番町4丁目4-2

② 認定証・参加証交付

参加した全ての学級（学年及び学校）に、認定証・参加証を交付する。ただし、1年間の累計ポイントを示した認定証交付申請書・参加証交付申請書を提出しなければならない。

認定証交付申請書・参加証交付申請書を確認後、認定証・参加証を送付する。

③ 記録の登録及び記録の更新の締切

令和7年1月17日（金）17:00

④ 認定証交付申請書提出締切

令和7年1月24日（金）17:00

(4) 創作部門の参加の登録及び作品等の応募について

参加の登録については、「利用の手引き」を参照し、「えひめ子どもスポーツITスタジアム」ホームページにある「創作部門 登録・更新」ページにて行う。

① 提出物（レッツリズムダンス）

- ・「レッツリズムダンス 申請書」は、ホームページからダウンロード可
- ・作品を収録したDVD-R（5分程度のもの）
→1つのDVD-Rに2つ以上の団体（作品）が含まれる場合は、
団体（作品）数分の申請書を提出すること。

② 提出上の留意点

- ・送料は、各学校負担とし、提出されたDVD-R及び資料等は返却しない。
- ・提供された資料は、研修会やホームページ等で公開することもあるので、資料掲載の可否について申請書に記入すること。
- ・DVD-R撮影時は、児童の表情や細かい動きが分かる作品を提出する。また、音楽が十分聞こえるように工夫して収録する。
(運動会ダンス等、屋上からの撮影は審査が困難なので、工夫し、必要に応じて人数を限定しての撮影も可)

③ 提出先

愛媛県教育委員会保健体育課教育指導グループ
〒790-8570
松山市一番町4丁目4-2

④ 提出期限

令和7年1月10日（金）17:00

8 審査

(1) チャレンジ部門

- ・通常学級は、種目及び学年ごとに、記録が高い順に順位を付ける。
- ・特別支援学級等は、学年別にはせず、種目ごとに記録の高い順に順位を付ける。
- ・同記録の学級が2つ以上ある場合は全て同順位とする。ただし、1位については、その部門の参加日数が多い学級を1位とする。

(2) ポイント獲得部門【エブリディスportsのみ】

- ・通常学級は、学年ごとに、ポイントが高い順に順位を付ける。
- ・特別支援学級等は、学年別にはせず、ポイントが高い順に順位を付ける。
- ・縦割りのグループは、最高学年での対象として順位を付ける。
- ・同記録の学級が2つ以上ある場合は全て同順位とする。ただし、1位については、記録登録の参加日数が多い学級を1位とする。

(3) 創作部門

審査は、「えひめ子どもスポーツITスタジアム」審査員会において行う。

＜「えひめ子どもスポーツITスタジアム」審査員＞（予定）

- ・大学関係者 2名
- ・小学校長（愛媛県小学校体育連盟会長） 1名
- ・小学校教諭（愛媛県小学校体育連盟理事長他） 複数名
- ・保健体育課指導主事 3名

種 目	審 査 基 準
レッツリズムダンス	<ul style="list-style-type: none">・音楽の雰囲気に合わせて軽快な動きや豊かな表情・友だちとのかかわり合い・ダンス全体の構成・振り付けや動きの獨創性

9 表彰

(1) チャレンジ部門

① スローアンドキャッチラリー

- ・各学年1位 賞状、トロフィー（1年生から6年生 計6学級）
- ・各学年2位から10位 賞状（1年生から6年生 計54学級）
- ・特別支援学級等1位 賞状、トロフィー（1学級）
- ・特別支援学級等2位から10位 賞状（9学級）

※ 各学年・特別支援学級等の1位の決定方法については、記録登録の参加日数が多い学級を1位とする。

② 長なわ跳び

- ・各学年 1 位 賞状、トロフィー（1年生から6年生 計6学級）
- ・各学年 2位から 10位 賞状（1年生から6年生 計54学級）
- ・特別支援学級等 1位 賞状、トロフィー（1学級）
- ・特別支援学級等 2位から 10位 賞状（9学級）

※ 各学年・特別支援学級等の1位の決定方法については、記録登録の参加日数が多い学級を1位とする。

③ 8の字ジャンプ

- ・各学年 1 位 賞状、トロフィー（1年生から6年生 計6学級）
- ・各学年 2位から 10位 賞状（1年生から6年生 計54学級）
- ・特別支援学級等 1位 賞状、トロフィー（1学級）
- ・特別支援学級等 2位から 10位 賞状（9学級）

※ 各学年・特別支援学級等の1位の決定方法については、記録登録の参加日数が多い学級を1位とする。

④ チームリレー

- ・各学年 1 位 賞状、トロフィー（1年生から6年生 計6学級）
- ・各学年 2位から 10位 賞状（1年生から6年生 計54学級）
- ・特別支援学級等 1位 賞状、トロフィー（1学級）
- ・特別支援学級等 2位から 10位 賞状（9学級）

※ 各学年・特別支援学級等の1位の決定方法については、記録登録の参加日数が多い学級を1位とする。

(2) ポイント獲得部門

【エブリディスports】

- ・各学年 1 位 賞状、トロフィー（1年生から6年生 計6学級）
- ・各学年 2位、3位 賞状（1年生から6年生 計12学級）
- ・特別支援学級等 1位 賞状、トロフィー（1学級）
- ・特別支援学級等 2位、3位 賞状（2学級）

※ 各学年・特別支援学級等の1位の決定方法については、記録登録の参加日数が多い学級を1位とする。

【幼児プログラム】

表彰の対象としないが「参加証」あり。 ※申請書の提出必要

(3) 創作部門

レッツリズムダンス

- ・最優秀賞 1団体 賞状、トロフィー
- ・優秀賞 5団体 賞状

(4) 表彰式

- ① 日 時 令和7年2月24日(月) 13時30分～
- ② 場 所 愛媛県武道館
- ③ 対 象 <チャレンジ部門>
通常学級各種目
特別支援学級等各種目
<ポイント獲得部門>
通常学級各学年
特別支援学級等
<創作部門>
レッツリズムダンス

④ 参加者

<チャレンジ部門・ポイント獲得部門>
学級担任及び代表児童(代表児童は、学校の希望により複数名参加可)

<創作部門>

担当者及び代表児童(代表児童は、学校の希望により複数名参加可)

※参加者の旅費は、各学校負担とする。

(5) その他

表彰式に参加できない表彰対象校は、市町教育委員会を通じて各学校に賞状等を送付する。

10 記録等の公開

「えひめ子どもスポーツITスタジアム」ホームページ上で公開する。

アドレス <http://www.its-ehime.jp>

11 その他

(1) 取組状況の資料提供

子どもたちが「えひめ子どもスポーツITスタジアム」に取り組んでいる様子や成果等に関わる資料を各学校から提供してください。

なお、送料につきましては、各学校負担とするとともに、提出資料等は返却しないことをご了承ください。

① 資料について

「えひめ子どもスポーツITスタジアム」への取組に関わる資料

- ・写真
- ・作文
- ・エピソード
- ・学級、学年、学校通信
- ・児童の感想
- ・学級担任の感想
- ・保護者の感想 等

※提供された資料は、ホームページで公開しますので、保護者等に資料提供についての承諾をとってください。

② 資料送付先

愛媛県教育委員会 保健体育課 教育指導グループ
〒790-8570
松山市一番町4丁目4-2

(2) 問い合わせ先

「えひめ子どもスポーツ I T スタジアム」に関するお問い合わせは、次のところ
お願いします。

愛媛県教育委員会 保健体育課 教育指導グループ
T E L 089-912-2981
F A X 089-912-2979
E-mail hokentaiiku@pref.ehime.lg.jp